

# 鯖江市議会報

第238号

令和3年  
8月25日発行

【今号の表紙】  
K・Eさん  
市民プールにて

子どもたち楽しそうだね  
みんな気をつけてね



鯖江市議会をもっと詳しく！

■ 新議長等を選任 .....	2
■ 一般質問 .....	8
■ 議会独自の防災訓練を実施 .....	12

# 第430回 7月臨時会

7月15日、臨時議会が開催され、議長・副議長の選挙が行われました。  
また、任期満了に伴い、常任委員会や、議会運営委員会の委員改選等が行われたほか、議会選出監査委員の人事案件に同意しました。

## 新議長



石川 修 議員

### 【略歴】

平成 19 年 7 月初当選。  
副議長、教育民生委員長、産業建設副委員長、公共施設管理等研究委員長などを歴任。4 期 石田上町

第41代議長に就任させていただき、厚く御礼申し上げます。  
このコロナ禍において議会に今求められていることは、市民生活の復興であると感じております。市民の思いを市政に反映していくという原点を意識し、二元代表制の一翼を担う議会として、行政とともに市民の皆様の御期待に沿えるよう、全力で努めてまいります所存でございます。  
今後とも、温かい御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 新副議長



佐々木 一弥 議員

### 【略歴】

平成 23 年 7 月初当選。  
教育民生委員長、産業建設委員長、指定管理者制度等研究委員長などを歴任。  
3 期 下河端町

## 新議会選出監査委員



帰山 明朗 議員

### 【略歴】

平成 19 年 7 月初当選。  
議長、副議長、教育民生委員長、議会運営委員長、広報委員長などを歴任。  
4 期 本町 2 丁目

## 委員会の構成

### 総務委員会(7人)

総務部、政策経営部、会計課、議会事務局、監査委員事務局、その他所管

委員長	福原敏弘
副委員長	木村愛子
委員	菅原義信
委員	玉邑哲雄
委員	石川修
委員	山本敏雄
委員	林下豊彦

### 産業建設委員会(6人)

産業環境部、都市整備部所管

委員長	大門嘉和
副委員長	奥村義則
委員	末本幸夫
委員	丹尾廣樹
委員	平岡忠昭
委員	佐々木一弥

### 教育民生委員会(6人)

健康福祉部、教育委員会所管

委員長	林太樹
副委員長	遠藤隆
委員	水津達夫
委員	帰山明朗
委員	空美英
委員	江端一高

### 議会運営委員会(7人)

議会の運営等

委員長	末本幸夫
副委員長	丹尾廣樹
委員	玉邑哲雄
委員	平岡忠昭
委員	木村愛子
委員	遠藤隆
委員	福原敏弘

# 第429回 6月定例会

【会 期】 5月26日～6月18日(24日間)

【議決内容】 市提出議案8件を可決、6件の専決処分を承認、市会案1件を可決しました。3つの常任委員会の審査内容は、p.4～p.6に、全議案の議決の詳細は、p.12～p.13に記載しています。

## ポイント!

### 鯖江市独自の新型コロナウイルス感染症対策、どんなものがあるの？

#### ・一般会計補正予算(議案第35号)(議案第36号)(議案第42号)

いまだ収束する気配を見せない新型コロナウイルス感染症。その影響は、鯖江市内のいたるところにみられます。昨年度から、国・県・市は各種コロナ対策事業を実施してきましたが、今定例会で提案された鯖江市独自のコロナ対策は、どんなものがあるのでしょうか。総務・産業建設・教育民生の3つの常任委員会で審査しました。

県外へ進学した学生への支援策は？ (⇒p.5)  
感染拡大に苦しむ企業への支援策は？ (⇒p.6)  
障がいのある方への支援策は？ (⇒p.7)

#### 常任委員会とは…

市の業務をいろいろな部門に分け、議案などについて詳しく審査するための委員会です。



### 昨今の大雪災害への備えは？

#### ・一般会計補正予算(議案第36号)

平成30年、令和3年と繰り返される大雪災害に対し、除雪協力業者が減少するなど、新たな問題が浮き彫りになりつつあります。災害に備え、どのような取組が考えられているのでしょうか。(⇒p.7)

### 総合交通・まちづくり推進特別委員会

本委員会は、北陸新幹線・在来線・福井鉄道・コミュニティバスなどの公共交通および、まちづくり施策全般にわたり、活動してきました。

北陸新幹線の工事遅延等による掛かり増し経費の発生や県による特急存続の断念発表の都度、鯖江市議会として意見書を提出するとともに、コミュニティバスのダイヤ編成等については、体験乗車による課題の洗い出し、乗車時間の短縮、利便性の確保等について議論してきました。

今後、新幹線開業後の並行在来線における鯖江駅東口改札の設置および駐車場を含めた駅周辺の整備、サンドーム新駅設置等、喫緊の課題についてのさらなる議論が必要となります。(⇒p.4)



JR鯖江駅東口の様子

### 議会ICT化推進特別委員会

鯖江市議会のICT化を推進することで、効率的で迅速な議会運営や、ペーパーレス化によるコスト削減と地球環境の保護、さらには新型コロナウイルスや自然災害などの有事に備えることを目的として、令和2年8月に設置されました。

9月定例会からは、全議員にタブレット端末を貸与し、紙、電子の2種類の資料を併用しながらのテスト導入の後、紙での資料配布を段階的に廃止し、本格的な導入を目指していきます。(⇒p.13)



(議場にてタブレット端末で資料を見る議員)

# 北陸新幹線敦賀開業後における鉄道利用者の負担軽減・利便性の確保に向けた支援等を求める意見書について(市会案第2号)

北陸新幹線整備にあたり、当初、国は、現行の新幹線が在来線に乗り入れが可能なフリーゲージトレイン(線路幅に合わせて車輪の左右間隔を変えることができる電車)を導入し、乗り換えの手間を省き、移動時間の短縮をさせることで利便性を高める方針でしたが、技術的な問題が生じたため断念しました。

その代替案として、大阪までのフル規格開業までの間、本市議会、市、経済界ならびに市民が一体となって特急存続を求めてまいりましたが、在来線の沿線市町や県の動向を受け、これまでの方針を維持しつつ、下記の意見書を提出する市会案を上程し全議員の賛成をもって可決されました。

7月1日には、意見書を関係省庁に提出し、杉本知事に対しては直接手渡すことで、支援を訴えました。



知事への意見書提出(7/1)の様子

## 北陸新幹線敦賀開業後における鉄道利用者の負担軽減・利便性の確保に向けた支援等を求める意見書

今般、これまで鯖江市、鯖江市議会とともに国やJRに北陸新幹線敦賀開業後の特急存続を求めてきた福井県は、その協議を断念する方針を示された。

この北陸新幹線整備事業について、当初、国土交通省は、大阪・富山間を直通運転するフリーゲージトレインを導入するとしていたが、その後、技術的な問題等によりこれを断念。このことにより、特急「サンダーバード」の利用者は敦賀駅での乗り換えが発生するなど、鯖江市民や利用者の負担増、利便性の低下は避けられない事態となった。その代替案として、大阪までフル規格で開業するまでは国の責任において福井駅まで特急を存続するよう切望してきたところである。

新幹線駅のない鯖江市において、認可時の約束のもと、敦賀開業後もフリーゲージトレインによって従前機能が確保されるとの当初の認識が大きく一変したこと、それにより特急存続を鯖江市、経済界、市民が一丸となって、国やJRに対して強く訴え続けてきた意義を考えると、今回、県から特急存続断念の方針が示されたことは、誠に遺憾である。

しかしながら、特急存続は非常に厳しいと言わざるを得ない現状を鑑みると、今後は、鯖江市民および来訪者の移動時の利便性低下を軽減するため、そして、まちづくりの機運を損なうことのないよう、速達性の高い列車の運行や並行在来線の既存駅およびその周辺整備などに国・県・鯖江市が一体となり取り組むことこそ、今、非常に重要であると考えます。

以上のことから、鯖江市議会は次のことを強く要望する。

### 記

- 1 敦賀以西から大阪までの整備に必要な財源を速やかに確保し、一日も早くフル規格による全線整備を実現すること。
- 2 速達性のある快速列車等を運行すること。また、その乗り換えの負担軽減策を講じること。
- 3 北陸新幹線敦賀開業後の並行在来線を利用する市民の利便性を高め、公共交通を充実させるためにも、鯖江駅、北鯖江駅およびその周辺整備に係る支援策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年6月18日

福井県鯖江市議会

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、福井県知事

# 総務委員会

議案第36号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第4号

## 市役所におけるDXの推進は？

**問** 感染症対策として、テレワークの推進はとても大事なことではあるが、自治体の場合は個人情報を取扱うとともに、対面業務も多いことから、自治体におけるテレワークの実施は、どのような業務や職員を対象と想定しているのか。

**答** テレワーク用パソコン50台については、端末内にデータが一切残らない仕組みを取り入れ、個人情報、市役所の庁内LANのファイルサーバーでのみ管理することで、セキュリティについては万全を期す考えである。また、テレワークの対象業務としては、市民の方と直接対応する窓口業務以外のパソコンを使用する全ての業務が可能であると考えている。

**問** 市役所におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は、内部業務のデジタル化が最終目標ではなく、行政サービスのデジタル化による市民の利便性の向上であるべきではないか。

**答** 市としても、行政サービスのデジタル化は市民の利便性向上と住民福祉の向上を目指すものとともに、これにより市民との対話時間や政策立案に要する時間を増やすことこそが、自治体DXの目指すところであると考えている。



テレワーク

**問** パソコンの導入後の次のステップとして、ロードマップ的なものはあるのか。

**答** 職員のITリテラシー向上が急務であると考えており、6月から全職員を対象として、デジタル化に向けた研修会を開催していく予定であるとともに、各担当業務の手順の見直しやデジタル化に向けた業務フローの作成など、秋頃を目途に検証していきたい。

議案第36号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第4号

## 鯖江市から県外へ進学した学生等への支援策の内容とは？

**説明** 新型コロナウイルス感染拡大により、地元鯖江市への帰省が難しくなっている県外在住の学生等を対象として、鯖江ゆかりの食料品等を送付し、県外で頑張る学生を応援することを目的とした事業であり、送付対象者数の上限は1,300人を想定している。

**問** 送付対象者数の上限を1,300人で想定しているが、事業の対象となる学生の総数は何人で把握しているのか。

**答** 市内小中学校における1学年あたりの児童・生徒は約700人在籍しており、事業の対象となる18歳から25歳までで計算すると、全体の総数は5,600人から5,700人となり、そのうち県外に進学されている方を2割強と想定し、送付対象者数の上限を1,300人で設定している。

議案第36号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第4号

## マイナンバーカード申請件数の急増に伴う市の対応策は？

**問** 令和3年3月の申請件数が4,000件に対し、交付件数は1,500件程度となっているが、今後どのように交付件数を増やしていくのか。

**答** マイナンバーカードの交付時に必要となる本人確認等の手続きについては、従来は交付時に本人に来庁いただいて行っていたが、今後はカードの交付申請時に手続きを行う「申請時来庁方式」を取り入れることで、交付処理件数の増加に努めたいと考えている。



マイナンバーカード

議案第35号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響に苦しむ企業への支援策は？

**説明** 新型コロナウイルスによる感染拡大が収まらない中、外出自粛の影響により、飲食店、旅行者、宿泊業者の経営が厳しい状況に置かれている。

市内飲食店等の事業の継続を支援し、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金を給付したい。

**問** 昨年度は、国・県・市において、幅広い業種を対象とした給付金事業が実施されていたが、今回の給付金では、飲食業・旅行業・宿泊業の3業種に限定している。

その理由は何か。

**答** 現段階では、国からの臨時交付金などの財源がないため、特に経営状況が厳しい業種に絞って、対象業種を設定した。

なお、業種の設定にあたっては、市内事業者を対象としたアンケート、および商工会議所や個別の店舗からの聞き取り結果等を基にしており、これらの3業種は、全体に比べて売上げの減少が顕著であったため、緊急的に支援したいと考えている。

**問** 市内の事業者の中にも経営規模の大小があるが、一律20万円の給付としている。

その理由は何か。

**答** 経営規模の大小や、売上額の減少幅に応じた給付額とした場合、その審査に時間を要することが考えられるため、速やかに審査を行い、給付金を事業者の手元にお届けできるようにとの考え方で、一律給付とした。

また、県内外の他市の支援状況を調査したところ、10万円から20万円のところが多かった。

できるだけ多く給付したいところではあるが、県の持続化給付金の給付条件とも比較し、20万円という金額設定とした。



市内企業への手厚い経営支援を

議案第36号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第4号

## 地域ぐるみで行う除雪への支援体制は？

**説明** 今回の補正は、自治会などが、市道を自ら除雪するための除雪機械の購入費を補助するものであり、乗用のホイールローダー1台分の費用を見込んでいます。



補助対象のホイールローダー

**問** 昨今の除雪協力業者の減少に対処するため、自治会が市道等の除雪を自ら行うことを推進する考えとのことだが、今後の市の除雪体制構築の方針はどのようなものか。

**答** 除雪協力業者の減少に備え、建設業以外の業種の企業にも協力を依頼していくほか、自治会自らが除雪する体制を、今後も広げていきたい。

今年1月の大雪を受け、市内全153自治会に要望調査をしたところ、今回の1自治会から要望があり、そのほか3自治会からも、好感触を得ている。全自治会の参加は難しいだろうが、なるべく多くの自治会からの参加をお願いしたい。

**問** 市内で既に運用している2自治会における、平成30年、令和3年の大雪の際の運用方法や注意すべき点等を積極的に聞き取り、新規に除雪機械を購入する自治会があれば、運用のアドバイスができるよう、準備をしてほしい。

**答** 現在、既に地域ぐるみで除雪を行っている自治会には、その実績・課題を聞き取り調査し、新しい自治会での除雪機械の導入に活用できるように進めていきたい。

# 教育民生委員会

議案第35号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第3号

## 神明苑の工事方法、これで万全？

**説明** 神明苑敷地の土壌調査の結果、重油の混入が判明した。敷地外への油の流出を防ぐため、神明苑敷地から東側の歩道面までの土壌を3メートル掘り下げ、土壌改良工事を行う。

**問** 今回の工事では、工事終了後も、油がじわじわと染み出てくることになる。擁壁を外して工事するなど、もっと抜本的な方法が必要なのではないか。

**答** 今回の工事では、油のすべてを取り除くことはできないが、油漏れの原因と思われる配管等の修繕は既に終わっており、敷地内に残っている油が外に流出しないことを第一に考えた。また、近隣住民の生活への影響も考え、擁壁を取り壊さない方法で進めたところである。

**意見** 神明苑自体を今後どうするのかを議論し、存続していくなら、費用をかけて直すべき。指定管理期間はあと2年あるが、やはり今年度中に方向性を出すべきである。



指定管理者により運営される神明苑

議案第42号 専決処分の承認を求めることについて  
令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第2号

## ワクチン接種送迎支援事業、助成対象となる範囲を広げないのか？

**説明** 65歳以上の高齢者が、安心してワクチン接種が受けられるよう、自宅から接種会場までのタクシー利用料金の一部を助成する。

**問** 今後、65歳未満の方のワクチン接種が始まるが、助成の対象としないのか。

**答** 65歳未満の方についても、支援が必要な方はいらっしゃると思う。担当課と連携し、高齢者と同様の助成が実施できないかと考えている。



新型コロナワクチン接種、いよいよ開始！

議案第48号

令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第6号

## 障害者手帳をお持ちの方が対象だが、留意すべき点について。

**説明** 新型コロナウイルスワクチン接種が段階的に進む中、64歳以下の障害者手帳をお持ちの方に対し、自宅から接種会場への移動にかかるタクシー利用料金の一部を助成する。

**意見** 障がいをお持ちの方は、ワクチン接種後の副反応のリスクが、通常の方より高くなる可能性がある。会場でも接種後に一定時間の経過観察が行われるが、送迎後も、注意深く様子を見ることが必要である。不慮の事故が起こらないよう、細心の注意を払ってほしい。

また、タクシー業者の方とも連携し、利便性向上につながるよう、心がけてほしい。



- ・ 65歳以上の高齢者
- ・ 64歳以下で障害者手帳をお持ちの方は、会場までの移動をタクシー利用で、一部助成あり。

ここが聞きたい!



# 一般質問

## 一般質問とは…

市のさまざまな課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を30分に制限して実施しました。

p.8	えばた かずたか <b>江端 一高 議員</b> 1 学校のプール授業と市民プールについて 2 ゼロカーボンシティ宣言とSDGsの両立について	p.10	はやし たいき <b>林 太樹 議員</b> 1 新型コロナウイルス感染症について
	だいもん よしかず <b>大門 嘉和 議員</b> 1 レッサーパンダの環境改善 2 地域公共交通整備		ふくはら としひろ <b>福原 敏弘 議員</b> 1 鯖江市DX推進基本方針策定について
p.9	えんどう たかし <b>遠藤 隆 議員</b> 1 新型コロナウイルスの影響を受ける文化芸術フリーランスに対する支援について ほか	p.11	すがはら よしのぶ <b>菅原 義信 議員</b> 1 コロナ禍の下での地域経済の動向について 2 鯖江市におけるデジタル化の構想と目標について
	きむら あいこ <b>木村 愛子 議員</b> 1 商工観光について 2 「お椀でごはん運動」を提案 ほか		おくむら よしのり <b>奥村 義則 議員</b> 1 「2050ゼロカーボンシティ」宣言と今後の取組について 2 防災対策について
p.10	はやしした とよひこ <b>林下 豊彦 議員</b> 1 子どもの貧困について 2 コロナ禍における鯖江市施設の利用について ほか		ささき かずや <b>佐々木 一弥 議員</b> 1 本市の歴史文化の活用について 2 鯖江市地域防災計画について

## 一般質問を見よう!

### 市役所の議場で

鯖江市議会議は、市役所の議場で傍聴することができます。

### 丹南CATVで

丹南ケーブルテレビで生中継・録画放送を行っています。

### YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルでも、動画を配信しています。



※ 次回開会日は、最終ページでご確認ください。

7月15日付けで、会派構成に変更がありました。今号では、質問時の所属会派名で掲載しております。



市政同志会  
江端 一高 議員

### 小中学校のプール授業と市民プールのあり方

**答 教育長** 水の安全に関する知識を学ぶ重要な機会であると認識しているが、本年度の水泳学習は感染防止対策の徹底が難しいと判断し中止とした。維持管理費が毎年平均約2,400万円必要となる試算である。

今後、プールの維持が困難となった場合、学校間の共有や市民プール、民間プールの活用を検討する必要がある。

**提案** 市内に屋内プールを建設し、市民プールとして使用するとともに、年間を通じて小中学校の水泳学習にも効率的に使用していくのがよい。

### ゼロカーボンシティ宣言とSDGsの両立

**答 市長** 宣言は、SDGsの取組と同様に、職員一人一人が自分事として考え、各部局横断的な取組が必要と考えている。また、環境基本計画に市の方向性を明確にし、市民、産業界とともに取り組んでいきたい。



鯖江市はCO2排出実質ゼロを目指します





市民創世会  
大門 嘉和 議員

## つつじバス再編について

**問** つつじバス再編の基本コンセプトは。

**答** 循環線は、JR鯖江駅、福鉄神明駅の2つを起点とした、定刻発、等間隔運行を基本とし、土日祝日の便数拡充、各地区路線と循環線の乗り継ぎの利便性などに重点を置いた分かりやすい運行ダイヤを目指す。

**問** 河和田地区のちよいボラ交通は便利な代わりに料金が高く利用しにくい。一方、つつじバスは料金は安いが便数が少ない。また、迂回箇所が多く時間がかかり過ぎる。

ちよいボラ交通とつつじバスがうまくすみ分けるには区内はちよいボラ交通、市内までの移動はつつじバスとしてはいかがか。

ラポーゼかわだでの日帰り入浴と昼食を

目的とした観光客や市民には快速便は大変利用価値が高いはず。

**答** 河和田線は速達性が劣っていることは承知している。しかし、市全体でのバスの運行台数、地域間のバランス、収支採算性などから、市内の一部路線にのみ快速便を設けることは、現状では極めて厳しいと考えている。



再編が議論されているつつじバス

## 新型コロナウイルスの影響を受ける文化芸術フリーランスに対する支援について

**問** 具体的な支援策は。

**答** 令和3年度の資金面での支援は、国においては、文化団体、文化施設向けにはあるが、個人事業主向けには現在のところない。

一方、県・市においては、対象となりうる補助金制度があるので、まずはこれらを紹介しつつ、さらなる支援を検討したい。また、発表の機会の提供が最も重要と考え、文化センターや、まなべの館での企画により間接的に支援していく。

## 公演中止と「表現の自由」の考えについて

**答** 文化センターで予定されていた公演の中止を求めたことは、市民の安全安心を守るために必要な措置だったと考えている。

損失補償については協議中であるが、財政的リスクを回避するために、文化センターにおけるコロナ対策実施基準を作成した。これは、国・県の警戒レベルに応じた利用制限を行うものである。

**問** 今後、ネット配信の考えは。

**答** 議員提案の無観客ライブ配信については、文化センターにライブ配信設備も整っているので、今後運用を図っていく。



公明党  
遠藤 隆 議員

## 商工観光について

**問** 新幹線開業後、ものづくり産業を観光資源として、朝倉氏遺跡から河和田への誘客を通年型で考えていただきたい。

また、今後、国道417号線の<sup>すいどう</sup>隧道化で中京圏からの観光客が多くなると思うが、道の駅や観光協会の役割の拡充が必要ではないか。

「お椀でご飯運動」を再度提案。所見を。

**答** 福井駅を起点とした、朝倉氏遺跡からうるしの里会館やめがねミュージアムを巡るおもてなし観光タクシーのルートを設定しているほか、観光施設を周遊するイベント等、広域観光の推進に取り組む。

次に、河和田地区の産地活性化については、体験型マーケット「RENEW」の通年型開催等、地域資源を生かしたにぎわい創出を

ブラッシュアップできるよう継続して支援したい。

道の駅西山公園の観光協会は、鯖江ブランドコーナーの一部を構成していて、よりきめ細やかな対面での情報発信に取り組んでいるが、西山公園は市内最大の観光施設、そこに事務所を構えるという意義は大きい。観光協会や道の駅指定管理者、都市計画課と魅力向上の協議を進めていきたい。

日本漆器協同組合連合会が、本年度「お椀でご飯」を推進すると聞いている。越前漆器協同組合と協力し、SDGsの取組にも合致する点等をPRし、市民、事業所の皆様に「お椀でご飯」実践を呼びかけていく。



木の漆椀での料理



市民創世会  
木村 愛子 議員



清風会  
はやし たかし  
林下 豊彦  
とよひこ  
議員

## コロナ禍での対応

**問** コロナ禍が長期におよび、経済活動は低迷し、子どもたちも貧困に陥っているが、鯖江市では把握しているのか。また、今後の貧困対策についての考えは。

**答** 表面化しにくく十分に把握できていないが、子育て家庭や貧困家庭を孤立させることなく、寄り添った相談ができるよう体制の整備に努めていきたい。

**問** コロナ禍における鯖江市施設の利用制限の基準は。

**答** 水際対策・安全対策を講じながら、各所管において利用者への配慮等も十分に検討を行った上で決定している。

**問** 鯖江市役所内での障がい者雇用の状況はどうか。

**答** 国の基準は満たしている。仕事の内容や職場環境については、総務課内に設置したサポートオフィスが機能しており、雇用者へのアンケート結果からもおおむね満足しているとの回答をいただいている。

**問** 鯖江市内の公共施設のLED化はどの程度進んでいるか。

**答** 市では、改築および大規模改修を実施する公民館や学校など、市民の避難所や防災拠点になる施設から優先的にLED化を進めている。



清風会  
はやし たかし  
林 太樹  
たいき  
議員

## 新型コロナ感染症について

**問** ワクチン接種の実施計画は。

**答** 一般高齢者約1万8千人の7月末接種完了に向け、市内34の医療機関の協力の下、6、7月の集団接種で、1万回分以上の接種体制を確保している。

**問** 市民の命と健康を守る新型コロナ感染症の対策は。

**答** 市長 現在は変異株が主流。県は濃厚接触者以外にも積極的にPCR検査を実施している。市民の理解と協力を得ながら、県の「おはなしはマスク」を徹底し密を避け、換気をすることなど、コロナ感染対策を丁寧に取り組んでいきたい。ワクチン接種は、

市医師会の協力をいただきながら、接種を進めているが、初めてのワクチンで不明な点が多く、不安もあると思われるため、分かりやすい情報提供に努め、任意接種ではあるが、できるだけ多くの市民にお願いしたい。このコロナ禍の危機に理事者および職員が一丸となって闘い、市民の皆さんと力を合わせて乗り越えていきたい。



「おはなしはマスク」徹底しよう



市政同志会  
ふくはら としひろ  
福原 敏弘  
とひろ  
議員

## 鯖江市のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進について

**問** 自治体でDXが必要な理由とデジタル人材の育成は。

**答** 人手に頼っている作業や業務を大幅に自動化できる環境が整ってきたため、人手に頼らないとできないもの以外は、コンピューターやネットワーク上のロボットやシステムに任せ、自動化を追求することで、より迅速で効率的な業務遂行を図っていく。また、これまで人手がなく手を出せなかった業務や新たな仕事に取り組めるようになり、より人に優しく丁寧な行政サービスが提供できると考えている。人材育成は、行

政サービスを自動化するための設計ができる職員、よりよい行政サービスを創造し提案できる職員、デジタル技術を見つけ業務に取り組んでいく職員、常に問題意識を持って改革していこうとチャレンジする職員の4つの目標を掲げ、全職員がDXの推進を業務改革の契機であるというような認識の下で研修会を開催する考えである。



DXの推進で業務改善を



菅原 義信  
すがはら よしのぶ  
日本共産党  
議員

## コロナ禍の下での地域経済の動向、ポストコロナへの対策

**問** この間の税収などの推移はどうか。コロナ対策で、地域経済の動向把握をこれまでとは違う方法で行う機会を得たはずだが、今後の産業行政に生かす新しい知見、教訓はなかったか。

**答** 市税全体で10億円余の減収とみているが、コロナ対策としての税率の軽減措置が取られたのが主な要因。生活保護受給者、減免措置者などの非課税者数は、ほとんど変化がない。

アンケートや経営相談を行い、業界動向だけでなく個別企業の実態も見えてきた。相談員の配置も継続できないか検討していきたい。

## デジタル化で個人情報の保護は大丈夫か

**問** 国会で議論されているデジタル基本法では、国と自治体が持っている膨大なデータを官民共同で利用できる仕組みを作っていくのが一番の狙いだと言われている。個人情報の保護の観点からは大きな懸念を生ずる。鯖江市の基本方針はどうか。

**答** 業務の効率化、行政サービスの質の向上を一番の目標としている。個人情報については定義も整理し、しっかりと担保できるようにして進めていきたい。



奥村 義則  
おくむら よしのり  
公明党  
議員

## 令和2年度の燃やすごみ組成調査の結果から今後の対応について

**問** 昨年度行われた燃やすごみ組成調査では、食品ロスの割合が6.2%であった。そして、昨年度1年間における家庭から出た燃やすごみの量は12,940トンで、組成調査の割合から換算すると食べられる食品が802トン(4トントラック200台相当量)廃棄されたことになる。本市における食品ロス削減に向けた今後の取組は。

**答** 本年度は組成調査アドバイザーを県から派遣いただき詳細調査を行う予定だ。また、6月11～13日にかけて、昨年SDGsを軸とした包括連携協定を締結した県民生協との連携事業として、家庭や「めがねのまちさば

え」応援企業から食材等の寄付をいただき、フードドライブを行いたい。昨年は、家庭、職場などで余った食品1,564品、米521キロが集まり、福祉団体施設を通じ、必要とされる方に提供できた。食品ロス削減に向け有益な手段であり、今後も広く呼びかけていきたい。



フードドライブで集められた食品

## 本市の歴史文化の活用について

**問** 史跡 兜山古墳について

**答** 鯖江市は、古来より丹南地域の中心地として発展してきた。

兜山古墳は5世紀に造られたと推定されており、円墳としては北陸最大の巨大な古墳であることから、古墳時代の鯖江の勢力をかいま見ることができる史跡の一つである。学習や観光などに幅広く活用していきたい。

古墳をテーマに、県内外の古墳ファンの皆様にお越しいただけるよう、各種イベントや、市内のほかの文化財などとのコラボを企画していきたい。

## 鯖江市地域防災計画について

**問** 今回配布された「災害時サポートガイド」について

**答** 今回のガイドブックは、1,000年に一度の最大規模の降雨を想定した土砂災害、洪水のハザードマップである。

また、国の防災基本計画の修正により、避難情報に関するガイドラインが見直されたことへの周知でもあり、避難の判断ということで、逃げ時についても色分けして表示してある。

逃げ時の、安全な避難路の確保に努めていく。



佐々木 一弥  
ささき かずや  
市政同志会  
議員

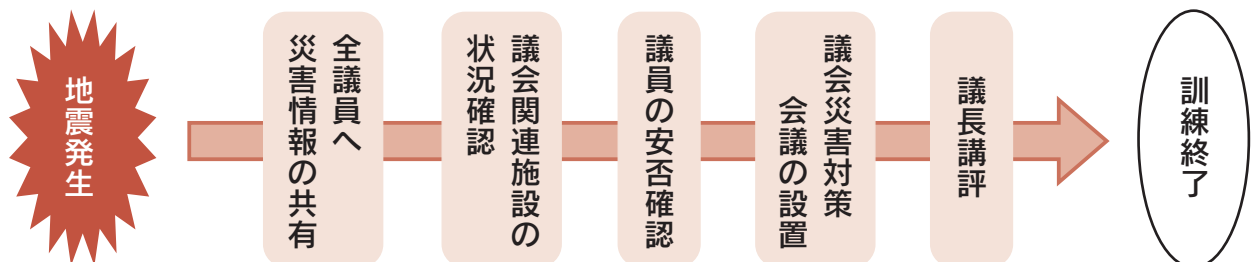
# 議案と結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
<b>6月定例会 【5/26提出・同日議決】</b>			
議案第35号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)	総務・産建・教民	可決(多数)
<b>【5/26提出・6/18議決】</b>			
議案第36号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第4号)	総務・産建・教民	可決
議案第37号	鯖江市税条例の一部改正について	総務	可決
議案第38号	鯖江市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	総務	可決
議案第39号	鯖江市国民健康保険条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第40号	市道路線の認定について	産業建設	可決
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第1号))	総務・教民	承認
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第2号))	総務・教民	承認
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度鯖江市一般会計補正予算(第14号))	総務	承認
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号))	教育民生	承認
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度鯖江市介護保険事業特別会計補正予算(第3号))	教育民生	承認
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(鯖江市税条例等の一部改正について)	総務	承認
<b>【6/8提出・6/18議決】</b>			
議案第47号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第5号)	総務・教民	可決
<b>【6/18提出・同日議決】</b>			
議案第48号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第6号)	総務・教民	可決
市会案第2号	北陸新幹線敦賀開業後における鉄道利用者の負担軽減・利便性の確保に向けた支援等を求める意見書について	—	可決
<b>7月臨時会 【7/15提出・同日議決】</b>			
議案第49号	鯖江市監査委員の選任について	—	同意

## 議会独自の防災訓練を7月6日に実施しました

令和元年5月策定の災害時における議会・議員の役割や行動方針を定めた「鯖江市議会緊急時業務継続計画(鯖江市議会BCP)」について、新型コロナウイルスまたは新型インフルエンザ等の感染症に対応するため、令和3年5月に改定をいたしました。

また、議員および議会事務局職員が、災害発生時における基本行動を再認識するため、「第1回鯖江市議会防災訓練」を実施しました。



議会BCPを制定しているのは、県内では2市(坂井市・鯖江市)のみ！  
鯖江市では、令和元年5月に制定しました。

# 賛 否

○…賛成、×…反対、欠…欠席をあらわします。

議員名	菅原義信	玉邑哲雄	水津達夫	末本幸夫	丹尾廣樹	平岡忠昭	木村愛子	遠藤隆	林太樹	石川修	奥村義則	帰山明朗	福原敏弘	佐々木一弥	山本敏雄	空美英	大門嘉和	江端一高	林下豊彦	
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※帰山議長は採決に加わっていません。

議案第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※石川議長は採決に加わっていません。また、帰山議員を監査委員とする議案のため、除斥されています。

## 議会ICT化推進の取組について

議会 ICT 化の取組により、令和 3 年 6 月議会から、タブレット端末などの電子機器の持ち込みが許可されました。さらに 9 月議会からは、全議員にタブレット端末が貸与され、ICT 化による、より効率的で迅速な議会運営・議案審議を目指します。

### ICT化で目指す市議会の姿

#### ペーパーレス化による経費削減

会議資料のペーパーレス化による、年間50万枚におよぶ資料印刷費約60万円の削減効果

#### 有事の際のオンライン会議開催

新型コロナウイルスや自然災害を想定した、オンライン会議の開催

#### スケジュールや通知連絡の電子化

スケジュールや通知・連絡を、メールやスケジュールアプリに移行し、議会運営を迅速化

### 今後のスケジュール

#### 9月議会

全資料を、紙・電子の両媒体で配布する。

#### 12月議会～3月議会

議場で配布する資料は、完全に紙での配布を廃止。提出議案、委員会の説明資料は、全て紙でも配布する。

#### 令和4年度以降

全ての会議資料について紙配布を終了する。

## 【次回】 第431回 9月定例会日程(予定)

新型コロナウイルス感染症予防のため、議員席・理事者席の一部にアクリルパネルを設置するとともに、傍聴席は、間隔をあけてお座りいただくなどの対応をとっております。  
来場の際はマスクを着用していただき、発熱等体調不良の場合は、傍聴をご遠慮ください。

日付	会期日程	CATV放送予定
8月25日(水)	10時 本会議(提案理由説明)	生放送
26日(木)		18時 再放送(8/25本会議分)
9月 6日(月)	10時 本会議(質疑、一般質問)	生放送
7日(火)	10時 本会議(一般質問)	生放送
8日(水)	10時 本会議(一般質問)	生放送
9日(木)	9時30分 常任委員会	
10日(金)	9時30分 常任委員会	
16日(木)		18時 再放送(9/6本会議分)
17日(金)	10時 本会議(委員長報告・採決)	生放送、18時再放送(9/7本会議分)
21日(火)		18時 再放送(9/8本会議分)
22日(水)		18時 再放送(9/17本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

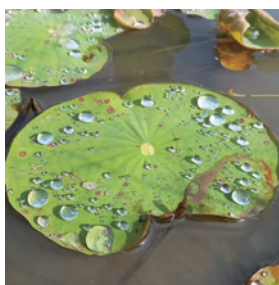
※ 委員会のCATV放送はありません。

## あなたの写真で表紙をかざってみませんか！

あなたの写真が表紙になります！ 人物、風景、行事など、どんなものでも構いません。  
鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください！



### 今回の応募作品の一部



中村裕美さん

### 応募する写真

鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真  
(被写体となった方の承諾を得て応募してください。)

### 応募方法

お名前、連絡先、写真の撮影場所をご記入の上、議会事務局へEメールか、郵送、またはご持参ください。

### 次号の応募締切

10月27日(水)

## 編集後記

私がこの編集後記を書いている今はTOKYO2020オリンピック真っ最中です。金メダル獲得数は史上最多となり、盛り上がり欠けていた大会前と打って変わってオリンピックの話題が尽きません。メダリストやオリンピックの強い気持ちや思い、そして感謝の言葉に感動しきりです。何事にも強い思いが必要だ！

今号からこの鯖江市議会報を担当するメンバーが新しくなりました。さらにより広報誌となるようにオリンピックに負けない強い思いで努めてまいります(^o^)/\*

広報委員長 林下 豊彦

発行：鯖江市議会 ☎ 53-2249  
E-Mail  
SC-Gikai@city.sabae.lg.jp

編集：広報委員会

委員長 林下 豊彦  
副委員長 江端 一高  
委員 奥村 義則  
委員 帰山 明朗  
委員 佐々木 一弥  
委員 大門 嘉和

今号は、6月定例会および、7月臨時会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。